

令和3年6月立山町議会定例会一般質問通告概要

(R3.6.7～21)

※質問順番

1番	伊東	幸一	議員
2番	岡田	健治	議員
3番	坂井	立朗	議員
4番	髪口	清隆	議員
5番	平井	久秋	議員
6番	澤井	峰子	議員
7番	後藤	智文	議員

1番 伊東 幸一 議員

(1) 学校施設等の利活用について

- ① 町内で廃校や休校となった小学校の利活用が進んでいるが、地域の活性化の拠点として、今後、どのようなことを期待するか。
- ② 旧保育所施設を「お試しサテライトオフィス」へ改修し町外の民間事業者を誘致することで、町内事業者に与える影響を問う。
- ③ 各施設【小学校3施設（廃校2、休校1）、旧保育所1施設】の利活用に向け、現在の進捗状況について問う。

(2) 日中上野・東谷辺地総合整備計画について

- ① 辺地の概要・公共的施設を必要とする事情
- ② 整備の基本方針及び現在の進捗状況
- ③ 計画の変更内容及び財源等について問う。

(3) 農地整備事業について

- ① 用排水路の経年劣化による漏水等により、営農に支障をきたしている。農地整備事業が各地で進められているが、町内の農地整備事業の実施状況を問う。
- ② 今後予定されている県営農地整備事業の見通しについて問う。

(4) 治山事業について

昨年度に発生した虫谷地内の地すべり及び芦見地内の山腹崩壊の復旧時期について問う。

(5) 農業用水路の転落防止対策強化について

地域と行政が一体となって効果的な事故防止対策に取り組んでいるのか問う。

(6) 空き家空き地対策と地球温暖化防止対策について

- ① 所有者不在の空き家、空き地が発生するケースがあると聞く。事後の対応もさることながら、発生予防対策も必要ではないか見解を問う。

- ② 立山町における地球温暖化防止対策、環境対策とは具体的にどのような事を推進するのか問う。
- ③ 今年度の推進室の目標、並びに室長の抱負（意気込み）を問う。

2番 岡田 健治 議員

(1) 町内施設の省エネ対策での節電対策の効果はどの程度か

町有施設でのソーラーパネル等々の設置が全施設に広がっているが、効果はどうか。

役場庁舎の1階ホールに設置されているメーターでは、瞬時電力や予測電力が表示され、庁舎の使用電力量を監視できる仕組みになっている。

毎朝も始業時間までは消灯、お昼時間も消灯ではあるが、夕方から夜間は煌々と、不夜城状態で、ブラック企業並みの明るさではないか。

朝・昼で削減した分、夕方夜間でチャラにしては、節電の意味があるのか。

従来からの電気料金は、ソーラーパネル設置に拠って減少していると思うが、どれほどの効果を生み出しているか。

また、今後の見通しについて問う。

(2) マイナンバーカードの発行状況について

マイナンバーカードの発行が急増して窓口の改修等が必要になったと報告があった。その素因となった事由、発行状況等を含めて新任課長の抱負と共に、これらの対策を問う。

(3) 子育て環境の整備について

医療的ケアの必要な幼児や児童に対する支援で、その方策や課題などの情報共有を図るため努力されていると思うが、通所する保育園や認定こども園等の条件整備は充分か。

併せて感染防止のため、人の出入りが少なく衛生が保てる環境整備の構築が必要ではないか。また支援関係会議を開いて、相談だとか、支援の内容だとかは、今後どのように進められるのか。

(4) 自殺対策について

年々増加ではないのか、ましてやこのコロナ禍での自殺者の現状と推移を聞く。

また、町自殺対策推進計画に基づく取り組みの成果と今後の課題はなにか。

(5) 合計特殊出生率の向上に向けて、新たな施策を打ち出せないか。

昨年の妊娠届出数が87万件を切ったと新聞報道があった。また、6月4日には昨年の赤ちゃん数が84万人だったことが報道された。

人口動態統計での全国の出生数は、統計を取り始めた明治32年以来、最小を記録した。

今、このコロナ禍の中にあっても死亡数よりも深刻な出生数の減少である。

第2次ベビーブームと言われた昭和48年の209万人から年々減少しており、過去最大の減少だったと報道がされた。

来年の2021年生まれは、70万人台になるとの予測も出ている。

出生率の減少に歯止めが掛からぬが、向上や新たな施策が必要だと思うが、どうか。

日本の産業構造自体に問題も抱えている訳だが、行政として、なにか採り得る方策を問う。

(6) 自主防災対策について

防災ハザードマップの発行と共に各地区で、防災意識の高揚と自主防災組織の組織化が進んでいる。

利田地区は、一番早く組織を立ち上げた集落もあれば、未だ組織化していない所もあり、地区全体としては町内で最下位の組織率となっている。

しかし、地区としては自主防災組織の連携や相互支援の必要性をも発唱されており、今夏連絡協を準備中である。

地区立地企業でも従来から、防火連携や協力も言われてきた。

改めて自主防災組織間・企業間の理解や連携、そして支援等々の方策にどのような手立てがあるか。行政の考えは。

(7) 職員の心の健康について

今年春先、隣村で職員間のパワハラ事件が報道されて、びっくりしたことがあった。男性職員が、目上の女性職員をパワハラしていたとのことで、更に驚愕したものだった。職員の心の健康を危惧する。

新田知事のことを借りれば、ワンチームタテヤマでないのか。町にこのような事案がないことを願うが、町として、対策を担う課として、職員の心の健康に注意していることは、何か。

3番 坂井 立朗 議員

(1) 立山町教育大綱の改定について

大綱の基本理念のなかの基本目標1に「恥を知る心」や「人を思いやり哀れむ心(惻隱の情)」を養うとある。高く評価するとともに敬意を表すが、どのように教え込むつもりか。

(2) 人事について

- ① 今年4月より消防本部の職員1名が総務課に異動となっている。本件の意図するところを伺う。
- ② 将来的に継続することが重要と思うが町長の考えを伺う。

(3) 衆院選及び町長・町議選について

町民会館においてコロナウイルスの集団ワクチン接種が実施されるなか、今秋に行われる衆議院議員総選挙や来年1月30日に実施される町長・町議選の投開票会場についてどのように考えているのか。

(4) 職員の研修について

- ① 新規採用職員の職員研修や接遇研修はどのように実施するのか。
- ② 併せて会計年度任用職員の皆さんのうち、特に窓口業務の方々にも接遇研修が必要であると思うがどのように考えるか。

4番 髪口 清隆 議員

(1) 小学校の利活用について

自然豊かな地方に、サテライトオフィスなどの拠点を設ける動きが全国的に加速している。

- ① 昨年の10月、旧谷口小学校でもサテライトオフィスが開設され、「地域のにぎわいづくり」につながっていると聞くが、来館者数の推移や、現在の状況は。
- ② また、今年に入ってから公募により、町内で休校・廃校となっている小学校が利活用される。企業努力はもちろんの大前提だが、各地域の活性化につなげるには、PRなどの町の支援が必要だと思われるが、当局の見解は。

(2) 喫煙所について

立山町民会館が、新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種会場となり、喫煙所が使用できなくなったためか、本庁駐車場や周辺などに、吸殻のポイ捨てが以前よりも目に付くようになった。

ポイ捨ては火災に繋がりがねず、景観も損なわれる。喫煙所を設ける考えは。

(3) 立山グランドデザインについて

町観光協会を導入した、電動アシスト付きマウンテンバイク（E-BIKE）のレンタルが4月よりスタートしている。

- ① 現在の利用状況は。
- ② この取り組みを知らなくて、何処で借りることができるのかとの声も聞く、更なる周知を
- ③ 町内で、里山の魅力を発信するためE-BIKEを貸し出し、里山を巡るツアーを計画・実施されている団体がある。観光協会と連携できればと思うがどうか。

5番 平井 久秋 議員

(1) 町中心部の公共施設について

- ① 仮称「防災センター」と「児童館」は同時建設の予定で、令和3年度に基本設計を進め、4年度に着工、5年度に完成と聞く。各種団体や多くの方々からの意見、ワークショップを開くなどを新年度に入って開くとのことだった。複数での開催を考えると日程的にも案内を出す時期に来ているのではないかと、町民の要望に応えるためにも丁寧な説明が必要と思うが、いかがか。
- ② 全国知事会で、公共建築物の木造化を進める自治体への財政支援の拡充を求める提言案がある。みどり維新のわが町では是非、仮称「防災センター」と「児童館」に反映を望むが、いかがか。

(2) 立山黒部貫光支援について

わが町を中心に経営展開する立山黒部貫光が昨年度決算で、約38億円の赤字となり、コロナ禍において2年連続となり過去最大の額となった。町内には多くの従業員もいて、また観光立町のわが町として、どのような形であれ支援していくべきと思うが、いかがか。

(3) 安心・安全について

① 消防通信指令業務の連携について

令和3年度以降に更新時期を迎える高機能消防指令システムだが、今年度も高額な保守点検費用が計上されている。このシステムの共同運用を視野に富山市に要請したとのことだが、現状ではどのような状況か、伺う。

② 消防立山分団屯所の新築について

立山分団屯所は昭和 56 年 11 月、署員が常駐する南部分遣所として建設され、他の屯所とは経過が異なる。広さはあるが使い勝手は悪く、駐車場も狭い。後からできた他の屯所が新しくなる中で、地域の防災・災害対策の拠点としての役割を果たすためにも、移転新築を望むがどのような考えか、伺う。

③ 先日、とある保険会社が「消防団災害活動用自動車保険」を 2022 年 1 月から全国の市町村に向けて販売するとの報道があった。ポンプ車に乗って災害現場まで出動できる団員は限られており、多くの団員は自家用車での出動で、事故があれば自己責任だ。団員の負担軽減につなげるためにも導入の検討を望むが、いかがか。

(4) 下田バイパスについて

立山地区の下田バイパスが計画されて久しい。高低差のある変則交差点で、信号見誤りによる事故は過去にも多い。開通に向けて地元の期待も大きく、今後の展開はどうなっていくのかを伺う。また、4 月に着任された安川建設課長におかれては、立山町での今後の活躍を期待するものであります。については町建設事業に対する意気込み、抱負があればお聞かせください。

(5) コロナ禍の食品ロスについて

コロナ禍での生活が続く中、学校給食においても食品ロスの増加を危惧する声が聞かれる。報道では県内の学校給食で、昨年の約 2.3 倍になったとも聞く。地産地消で町内産の利用が増加しているだけに、残念なことだ。そこで

① わが町の学校給食での食べ残しの割合はどの程度になっているのか。

② 朝食を食べない子供が増加している中で、給食での栄養摂取を考えた場合、何とか改善していかなければならないと思うが、どのようなお考えか。

(6) 町中心部の賑わいづくりについて

コロナ禍での緊張感の生活が続く中、町の元気が今一つないと感じられる。不要不急の外出制限がより拍車をかけている。そこで「元気交流ステーション」や「まちなかファーム」などに「ストリートピアノ」の設置を、と思うがいかがか。中高生があまり利用しない時間帯を、逆に利用時間とし、自由に弾いてもらう。また、近隣の保育所、幼稚園の散歩コースにしてもらい、伴奏に合わせた歌声が響けば、それを聞きたさに、また人が集まる。そのような人のつながりも創っていけるのではないか。

6 番 澤井 峰子 議員

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について

① 59 歳以下で基礎疾患をお持ちの方の中で、町で把握している障がい者の方には直接、接種券を郵送することはできないか。また、「接種券送付依頼票」の締切 10 日以降も持病を持つ方がなるべく先行して接種ができるよう依頼票の周知をと思うが町の対策を伺う。

② 接種順位に、若者世代やエッセンシャルワーカーを優先的に進めている自治体がある。今後、59 歳以下の接種順位の町の見解、日程の目安を伺う。また、県の集団接種の対応はどのようなのかを伺う。

③ ファイザー社ワクチン使用対象が 12 歳からとなるなか、現在、中高生に対する接種の在り

方が国で議論されている。町としても様々な想定をしておかねばならないと思うが、現時点での見解を伺う。

(2) 町の活性化について

- ① 令和2年国勢調査の速報が先日発表となった。わが町の人口減もさらに加速しているが、この5年間の様々な施策を通しての総括を伺う。
- ② 次の5年に向け、若者世帯の定住・移住に対し様々な支援策を実施している。特に、新婚や若年世帯の新生活支援事業について持続可能な事業であることが重要であると思うがその現状を伺う。
- ③ たてポカードでのポイント付与事業について、利用できる店舗の拡大や内容の充実が重要であると考えている。現在のポイント還元事業に加え、E-バイクやパークゴルフ、アウトドア施設利用といった体験型と組み合わせた仕掛けをと思うが町の見解を伺う。

(3) GIGA スクール構想について

先進的に進めて頂いているわが町のGIGAスクール構想について、整備したICT機器を学校生活で有効活用することが課題とされているが、現在の活用状況を伺う。

(4) 安全な道路維持について

- ① 通学路において危険個所の対策を伺う。特に、低学年の児童が溝にはまりケガをしたとの声を頂いた。安心して通学できるよう更なる点検、改善をお願いしたい。
- ② 道路リポーターシステム活用の運用状況を伺う。

(5) マイナンバーカードの促進について

高校無償化に伴う就学支援金申請において、マイナンバーの提示が必須となっているため、中学3年生の保護者へその旨を周知し、マイナンバーカード取得促進につなげてはと考えるが見解を伺う。

7番 後藤 智文 議員

(1) 下田交差点から下田バイパスへの新設道路について

県の今年度予算で調査費が計上され、地元の強い要望と当局、そして議会での後押しで長年の要望が実ろうとしている。毎年の町の重点事業要望の一つに挙げ、後押しを図るべきではないか。

(2) 固定資産税率について

- ① 平成20年度と比べ令和元年度は、地方交付税の増加、人件費の大幅減、一般会計の基金は2.5倍化し、減債基金も4倍化している。このことをどう捉えているか。
- ② 平成20年度から学校環境を整えるために固定資産税率が上げられ、町民は昨年まで7億2千万円以上納めている。税率が上げられていることがわからない町民がいるぐらいに時が過ぎている。任期中は下げないといわれていたがいつまで上げたままにするのか。
- ③ 税率アップの当初の目的は、学校改築の当初予算の確保からだったが、借金返済となり、教育施設の整備とやや外れてきているように思える。税率を元に戻し、町民負担をなくすべきではないか。もし、今後も続けるならいったん税率を元に戻し、再度町民に問うべきではないか。

(3) 子供医療費について

町長の考えは分かっているが、子育て支援の大事な一環として再度取り上げる。高校生まで無料にする自治体は東部地域を中心に広がっている。18才までの子供医療費無料化をし、コロナ禍の中、子育て世代の負担を減らすべきではないか。

(4) ワクチン難民対策について

① 6月7日までに予約した高齢者は何人か。

② 予約されない高齢者に対して、接種したいのかしたくないのか把握に努める手立てをとるべきではないか。そして、接種したいすべての高齢者が打てるように行政から手助けをすべきではないか。

(5) 栃津川放水路について

2年前の台風19号の未曾有の被害を受けて、全国の河川の在り方が議論された。この年の12月議会で栃津川放水路の取り入れ口と下流の浚渫をお聞きしたが、県は「浚渫の必要性は認識し、状況を確認して対応」としていた。今、取り入れ口は対応されているが、下流はそのままである。被害が出る前に対処するよう、県に再度働きかけるべきではないか。

(6) グリーンパーク吉峰パークゴルフ場について

グリーンパーク吉峰パークゴルフ場の雷鳥コースが設置され、公認コースとなって5年。水洗場や簡易トイレはできたが休憩場所はいまだにパイプ管での設置であり、暑さや雨をしのげるきちんとした東屋を設置すべきではないか。

(7) 消防団詰所について

消防分団詰所は、町公共施設等総合管理計画によると物理的供用限界まで活用となっている。立山分団詰所は、昭和56年に建てられ、築41年になり一番古い建物である。その後に建てられた分団詰所は建て替えが進んでいることから、立山分団詰所は、物理的供用限界は超えていると思われ、建て替えを進める段階ではないか。